

2025年11月20日

四国地域の経済動向（概要）
（2025年9月分）

～四国地域の経済は、持ち直しの動きがやや鈍化している～（→）
（持ち直しの動きがやや鈍化している）

生産（→）	鉱工業生産は、弱含みで推移している。《弱含みで推移》 鉱工業生産指数は、前月比が5カ月ぶりに上昇した。
個人消費（→）	個人消費は、持ち直している。《持ち直している》 百貨店・スーパー販売額（全店）は、11カ月連続で前年を上回った。 コンビニエンスストア販売額は、7カ月連続で前年を上回った。 家電大型専門店販売額は、2カ月ぶりに前年を下回った。 ドラッグストア販売額は、51カ月連続で前年を上回った。 ホームセンター販売額は、3カ月連続で前年を下回った。 乗用車新車新規登録・届出台数は、3カ月連続で前年を下回った。
住宅着工	新設住宅着工戸数は、6カ月連続で前年を下回った。
公共工事	公共工事は、請負金額が7カ月ぶりに前年を下回り、年度累計は17カ月連続で前年度を上回った。
設備投資	2025年度の設備投資計画額は、2年連続で前年度を上回る見込み。
雇用	雇用は、有効求人倍率が2カ月ぶりに前月を上回り、一般新規求人数は5カ月ぶりに前年を上回った。
倒産	倒産件数は、5カ月ぶりに前年を上回り、負債総額は2カ月ぶりに前年を上回った。

注意：（ ）内は基調判断の動き。→は据え置き、↗は上方修正、↘は下方修正を示す。《 》内は前月の基調判断を記載している。

【四 国 の 経 済 指 標】 2025年9月

	四 国			全 国		
	前月比(%)	前年同月比(%)		前月比(%)	前年同月比(%)	
鉱工業生産指数 （2020年=100、季節調整済 前年同月比は原指数）	96.0	10.0	▲ 2.2	102.8	2.2	3.4
鉱工業出荷指数（〃）	91.8	4.2	▲ 4.9	100.2	0.7	2.1
鉱工業在庫指数（〃）	103.1	2.6	1.2	99.6	0.5	▲ 2.7
百貨店・スーパー販売額（単位：億円）（全 店）	455		2.1	17,992		3.4
			▲ 1.1			1.9
コンビニエンスストア販売額（単位：億円）	252		0.6	11,000		3.0
家電大型専門店販売額（単位：億円）	78		▲ 1.3	3,975		5.4
ドラッグストア販売額（単位：億円）	245		7.4	7,655		5.1
ホームセンター販売額（単位：億円）	71		▲ 4.0	2,546		▲ 2.3
乗用車新車新規登録・届出台数（単位：台）	10,552		▲ 4.1	356,966		▲ 2.5
新設住宅着工戸数（単位：戸）	1,226		▲ 2.8	63,570		▲ 7.3
公共工事請負金額（単位：億円）	588		▲ 14.1	14,348		12.5
有効求人倍率（季節調整済）	1.31	（前月差	0.01）	1.20	（前月差	0.00）
企業倒産件数（単位：件）	16		33.33	873		8.17

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。有効求人倍率(季節調整済)は、前月差(ポイント差)を示す。

（本発表資料のお問い合わせ先）
四国経済産業局 総務企画部参事官（調査担当） 藤井
担当者：三野
電 話：087-811-8509（直通）
URL：<https://www.shikoku.meti.go.jp/>

四国地域の経済動向 (2025年9月分)

1. 鉱工業生産 ～弱含み～

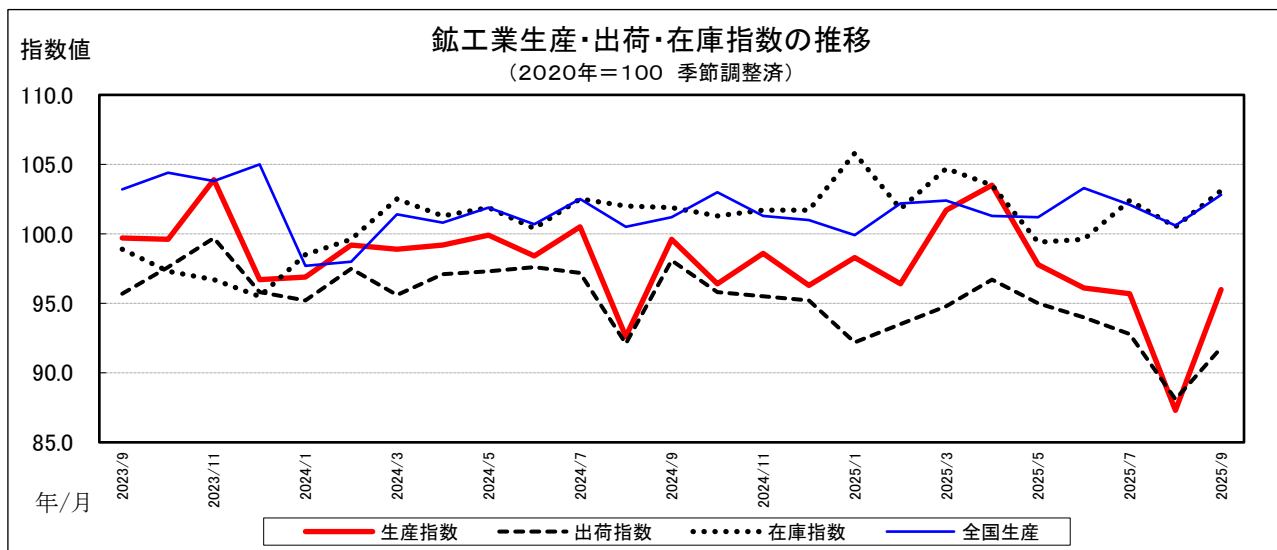
当月の鉱工業指数をみると、前月比では、生産は5カ月ぶりの上昇、出荷は5カ月ぶりの上昇、在庫は2カ月ぶりの上昇、在庫率は4カ月連続の上昇となった。なお、前年同月比では、生産は5カ月連続の低下、出荷は9カ月連続の低下、在庫は5カ月ぶりの上昇、在庫率は11カ月連続の上昇となった。

生産は、前月比10.0%増(前年同月比2.2%減)となり、生産指数(季節調整済)は96.0となった。業種別にみると、化学・石油石炭製品工業、汎用・生産用機械工業などが上昇し、鉄鋼業、繊維工業などが低下した。出荷は、前月比4.2%増(前年同月比4.9%減)となった。業種別にみると、輸送機械工業、電気機械工業などが上昇し、非鉄金属工業、鉄鋼業などが低下した。在庫は、前月比2.6%増(前年同月比1.2%増)となった。業種別にみると、非鉄金属工業、化学・石油石炭製品工業などが上昇し、繊維工業、プラスチック製品工業などが低下した。在庫率は、前月比6.1%増(前年同月比10.1%増)となった。

【鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) 2020年=100】

(増減率: %)

前月(年)比	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
生産指数	▲ 0.7	1.8	▲ 5.5	▲ 1.7	▲ 0.4	▲ 8.8	10.0
出荷指数	▲ 0.5	2.0	▲ 1.8	▲ 1.1	▲ 1.3	▲ 5.1	4.2
在庫指数	4.4	▲ 1.1	▲ 4.0	0.2	2.8	▲ 1.9	2.6



※最新月は速報値

(出所: 経済産業省「鉱工業指数」、四国経済産業局「四国地域の鉱工業生産・出荷・在庫指数」)

2. 個人消費 ～持ち直している～

(1) 小売販売

当月の百貨店・スーパー259店(百貨店4店とスーパー255店)の販売額合計は454.8億円で、前年同月比2.1%増と11カ月連続で前年を上回った。

業態別にみると、百貨店4店の販売額は49.8億円で、前年同月比8.3%減と2カ月ぶりに前年を下回った。前年に比べ日曜日が1日少なかったことに加え、品目別にみると、その他の商品は化粧品が振るわなかったことなどから3カ月ぶりに、身の回り品はインポートバッグなどの動きが鈍かったことなどから2カ月ぶりに、衣料品は残暑の影響により紳士服、婦人服ともに秋物衣料が苦戦したことなどから2カ月ぶりに、それぞれ前年を下回った。

スーパー255店の販売額は405.0億円で、前年同月比3.6%増と11カ月連続で前年を上回った。品目別にみると、飲食料品は米の高値が続いているほか、冷凍食品や総菜、アイスクリームが堅調に推移したことなどから、11カ月連続で前年を上回った。その他の商品は化粧品や玩具、ティッシュペーパーなどの紙製品に動きがみられたことなどから、7カ月連続で前年を上回った。一方、衣料品は残暑の影響により秋物衣料が苦戦したことなどから、2カ月ぶりに前年を下回った。

コンビニエンスストア1,564店の商品販売額及びサービス売上高は252.2億円で、前年同月比0.6%増と7カ月連続で前年を上回った。

家電大型専門店83店の販売額は78.0億円で、前年同月比1.3%減と2カ月ぶりに前年を下回った。

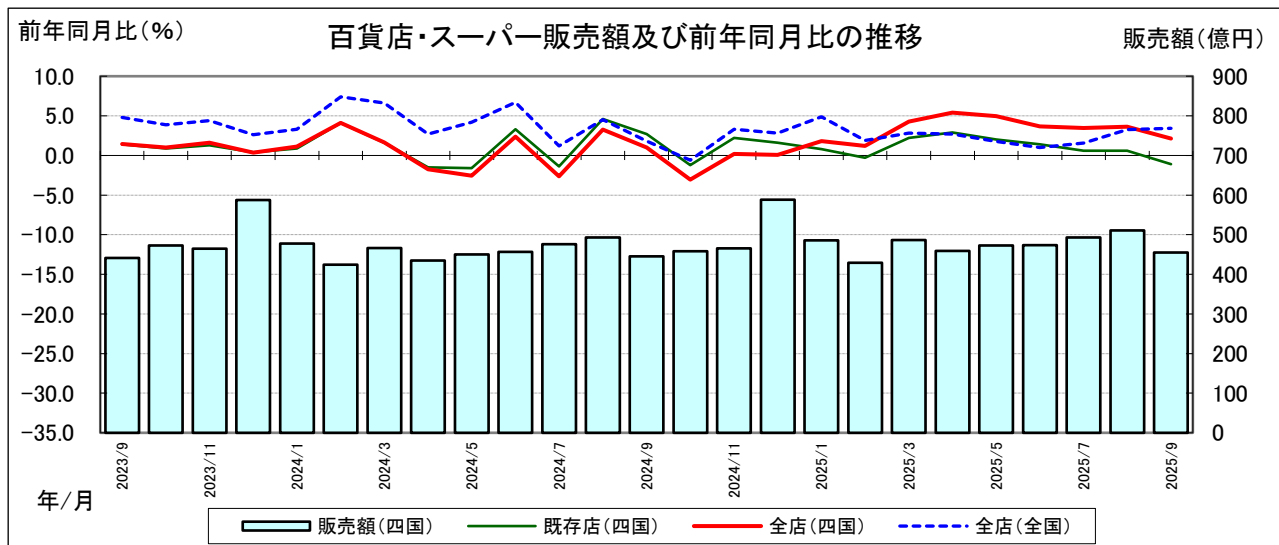
ドラッグストア666店の販売額は245.0億円で、前年同月比7.4%増と51カ月連続で前年を上回った。

ホームセンター203店の販売額は71.1億円で、前年同月比4.0%減と3カ月連続で前年を下回った。

【百貨店・スーパー販売額】

(増減率: %)

前年同月(年)比	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
全 店	0.3	5.4	5.0	3.6	3.5	3.6	2.1
既存店	1.2	2.9	2.0	1.4	0.6	0.6	▲ 1.1



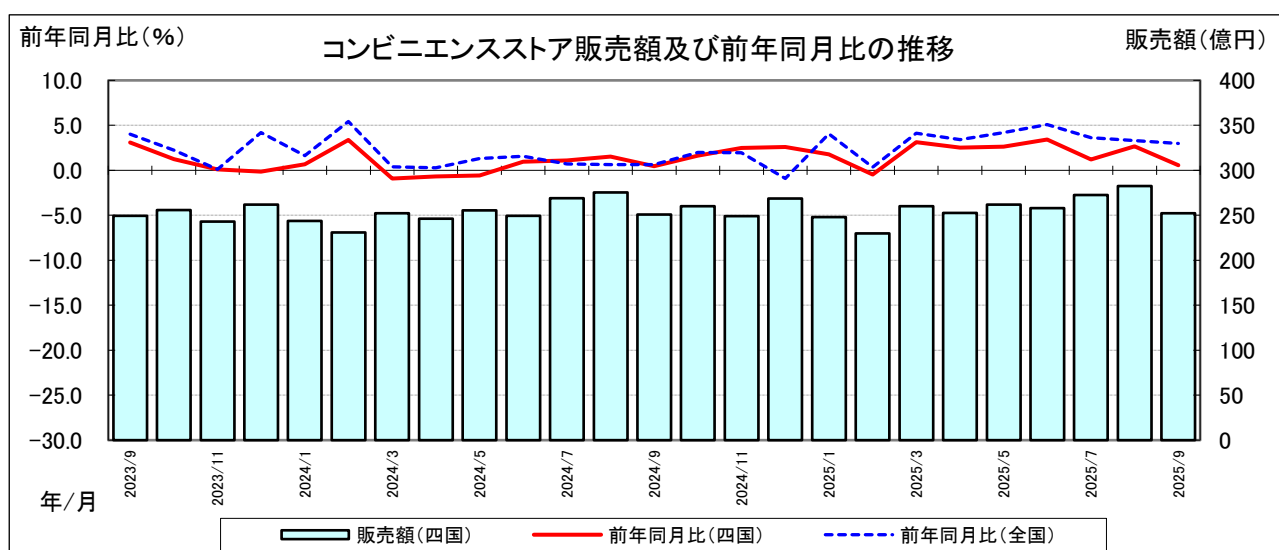
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」、四国経済産業局「四国地域の百貨店・スーパー販売状況」)

【コンビニエンスストア販売額】

(増減率: %)

前年同月(年)比	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前年同月(年)比	1.0	2.5	2.6	3.4	1.2	2.7	0.6



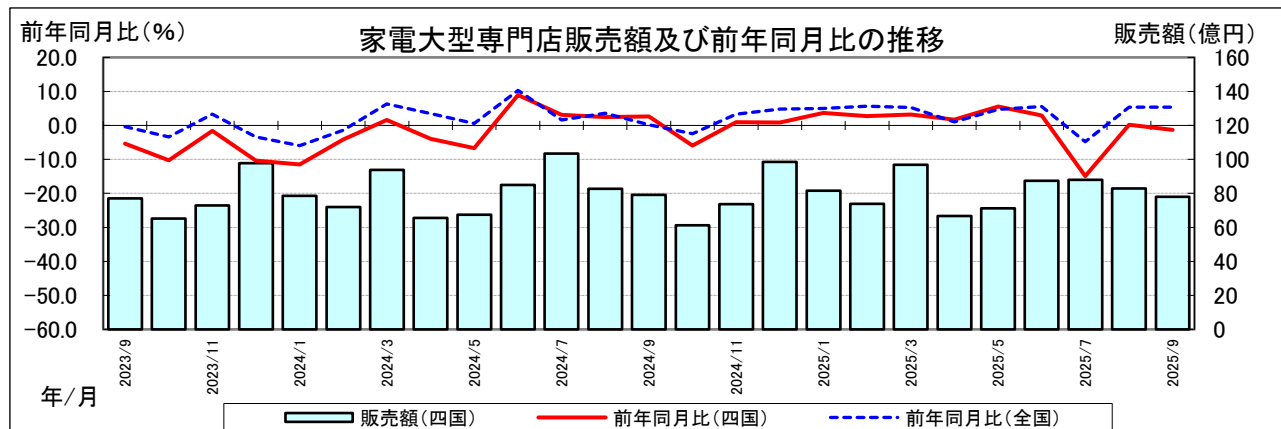
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【家電大型専門店販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前年同月(年)比	▲ 0.8	1.7	5.6	3.0	▲ 14.9	0.2	▲ 1.3



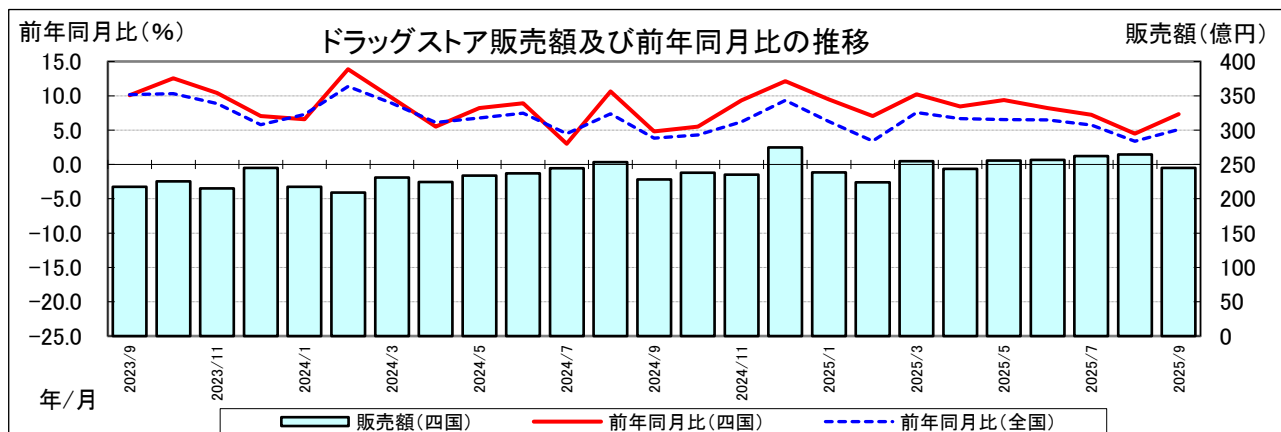
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【ドラッグストア販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前年同月(年)比	8.1	8.4	9.4	8.2	7.2	4.5	7.4



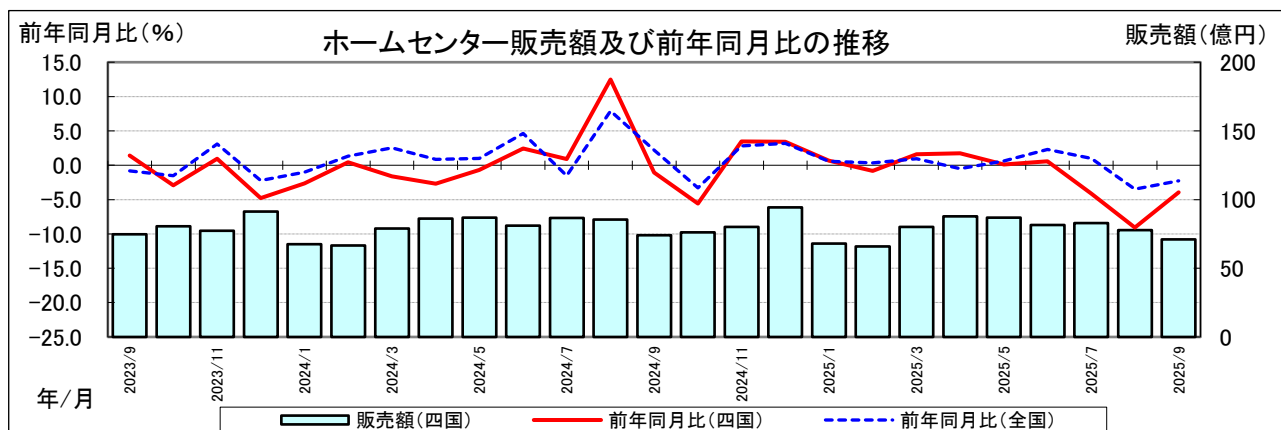
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【ホームセンター販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前年同月(年)比	0.7	1.8	0.1	0.6	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.0



※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

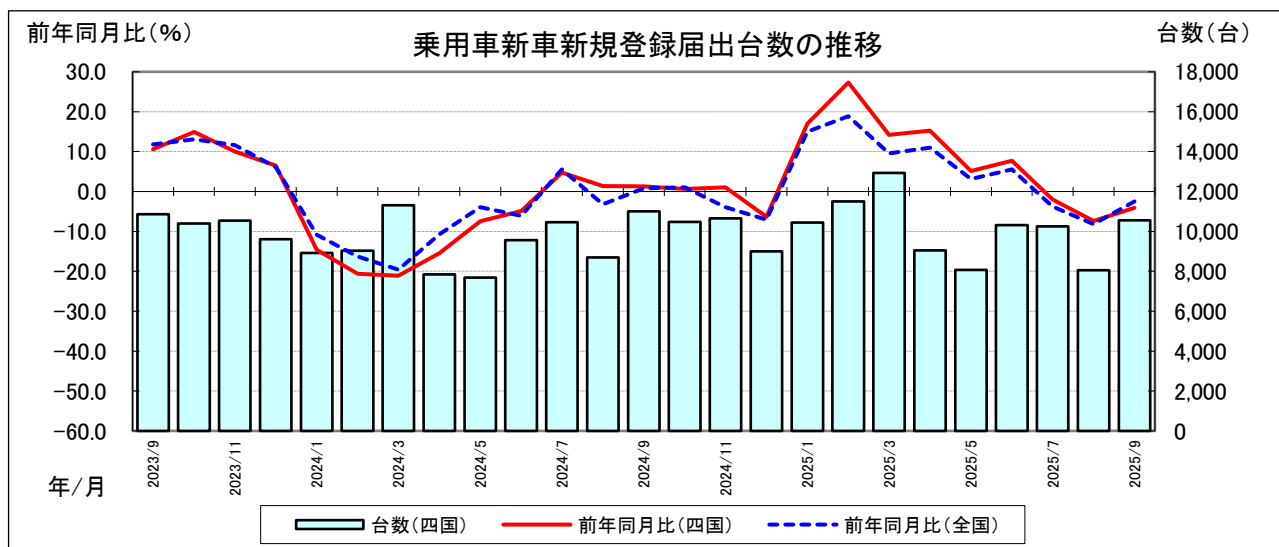
(2) 乗用車新車新規登録・届出台数

当月の乗用車新車新規登録・届出台数は10,552台で、前年同月比4.1%減となり、3カ月連続で前年を下回った。車種別でみると、普通乗用車が前年同月比8.3%減、小型乗用車が同13.7%減、軽乗用車が同4.1%増となった。

【乗用車新車新規登録・届出台数】

(増減率: %)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前年同月(年)比	▲ 7.4	15.2	5.1	7.7	▲ 2.0	▲ 7.4	▲ 4.1



(出所: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

3. 住宅着工

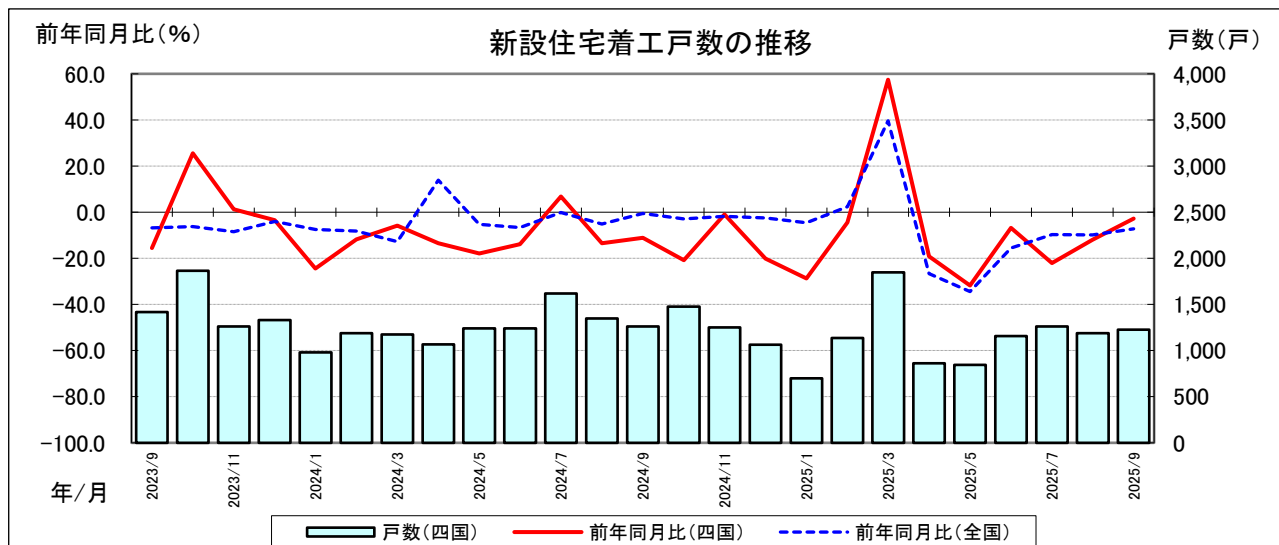
当月の新設住宅着工戸数は1,226戸で、前年同月比2.8%減となり、6カ月連続で前年を下回った。

区分別でみると、持家が前年同月比11.8%減、貸家が同9.4%増、分譲住宅が同8.3%減となった。

【新設住宅着工戸数】

(増減率: %)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前年同月(年)比	▲ 12.4	▲ 19.1	▲ 31.8	▲ 6.8	▲ 22.0	▲ 11.9	▲ 2.8



(出所: 国土交通省「建築着工統計調査」)

4. 公共工事

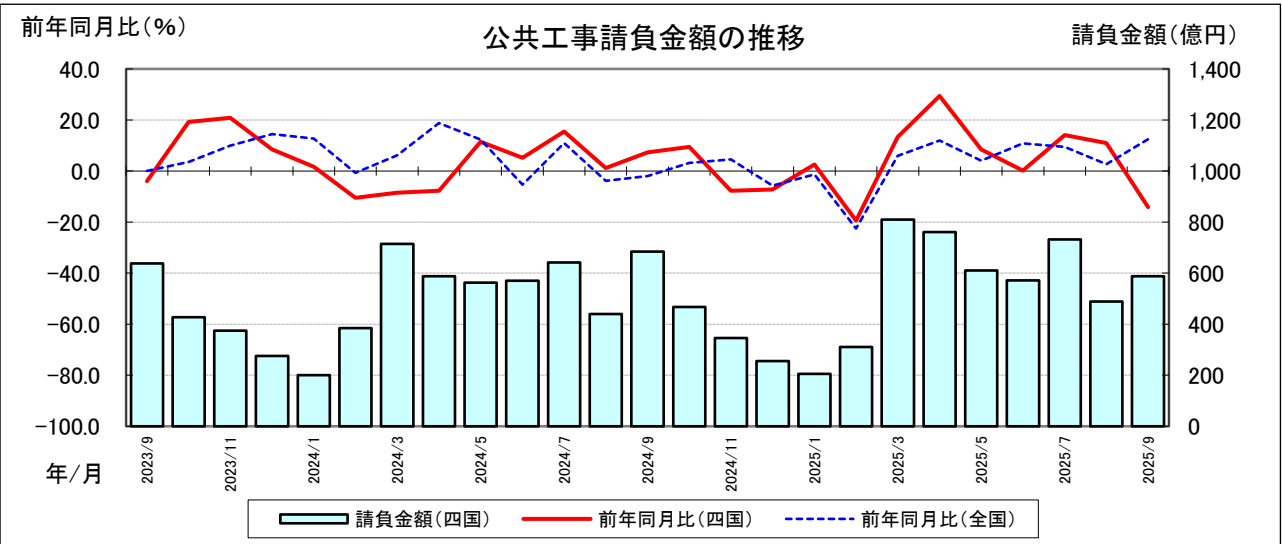
当月の公共工事の発注状況を請負金額でみると588億円で、前年同月比14.1%減と7カ月ぶりに前年を下回った。前年度同月累計比では7.6%増と17カ月連続で前年度を上回った。

発注者別では、国が前年同月比19.9%増、県が同7.8%増、市町村が同34.4%減、独立行政法人等が同60.1%減となった。

【公共工事請負金額】

(増減率: %)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前年同月(年度)比	3.4	29.4	8.5	0.2	14.1	10.9	▲ 14.1
前年度同月累計比	-	29.4	19.2	12.9	13.2	12.9	7.6



(出所:北海道建設業信用保証㈱・東日本建設業保証㈱・西日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」)

5. 設備投資

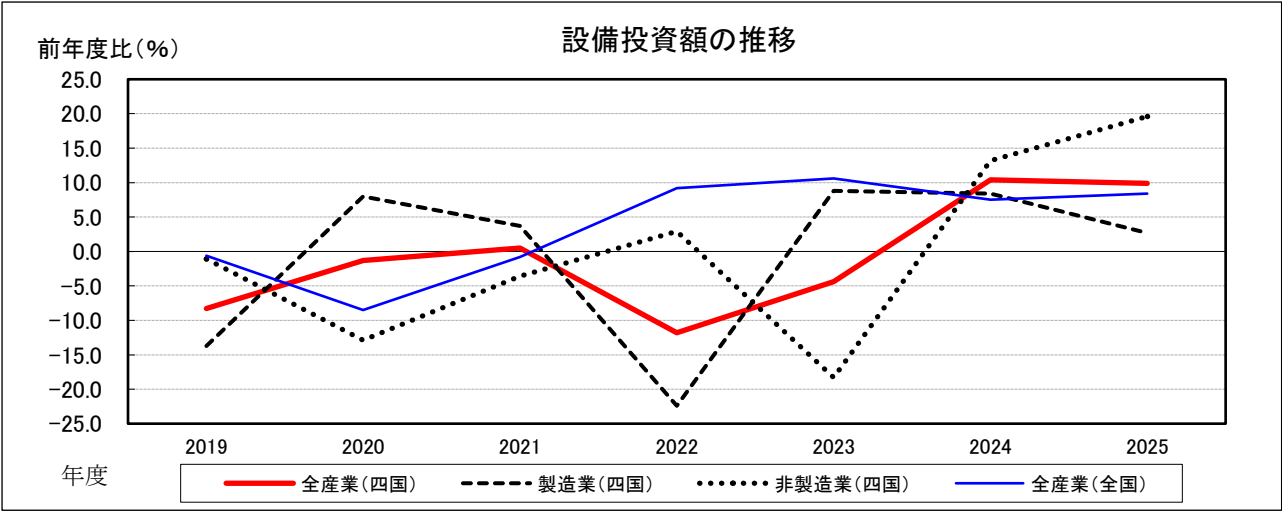
2025年度の設備投資計画は、前年度比9.9%増となっている。

業種別では、製造業が前年度比2.7%増、非製造業が同19.6%増となっている。

【設備投資額(含む土地投資額)】

(前年度比: %)

	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度実績	2024 年度実績	2025 年度計画
全産業	▲ 8.3	▲ 1.3	0.5	▲ 11.8	▲ 4.4	10.4	9.9
製造業	▲ 13.7	8.0	3.7	▲ 22.4	8.8	8.4	2.7
非製造業	▲ 1.1	▲ 12.9	▲ 3.6	2.9	▲ 18.3	13.2	19.6



(出所:日本銀行「企業短期経済観測調査」)

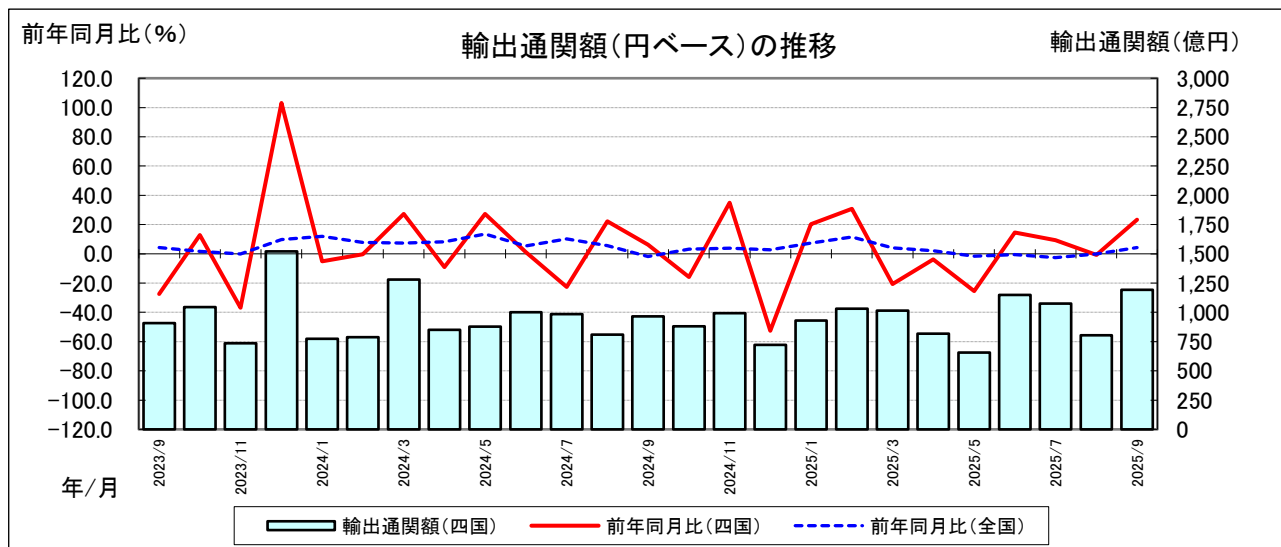
6. 貿 易

(1) 輸出

当月の輸出通関額(円ベース)は1,192億円で、有機化合物、石油製品などが減少したものの、船舶、非鉄金属などが増加したため、前年同月比23.4%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。

【輸出通関額】 (増減率: %)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前年同月(年)比	▲ 3.9	▲ 3.8	▲ 25.4	14.6	9.3	▲ 0.7	23.4



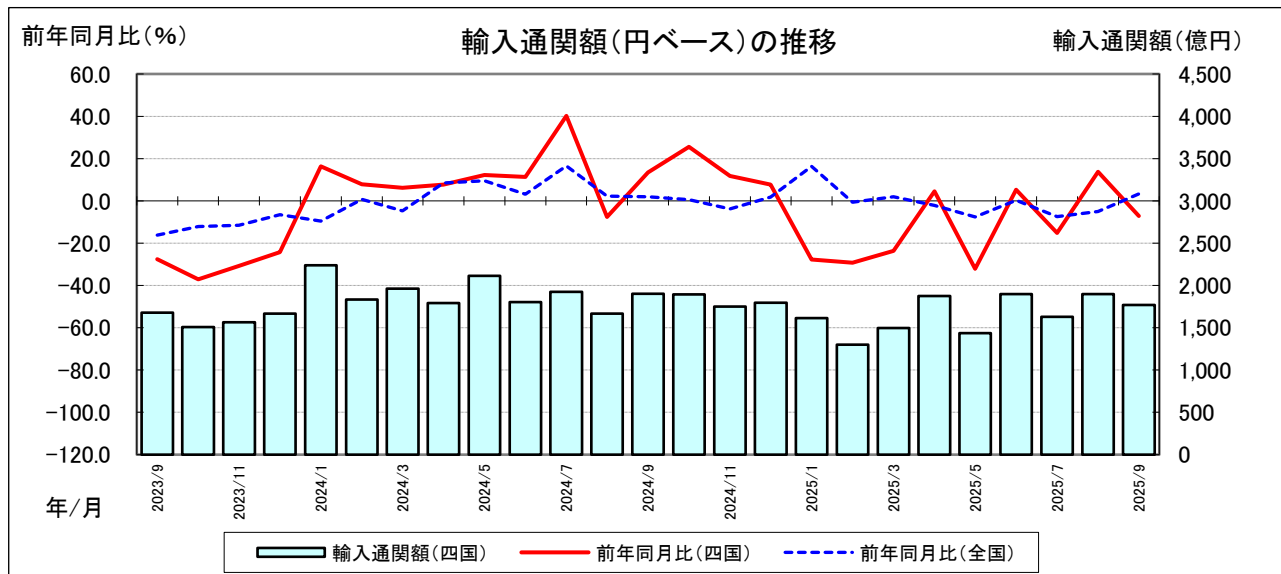
(出所:神戸税関「貿易統計」)

(2) 輸入

当月の輸入通関額(円ベース)は1,768億円で、原油及び粗油、無機化合物などが増加したものの、天然ガス及び製造ガス、石炭などが減少したため、前年同月比7.1%減と、2カ月ぶりに前年を下回った。

【輸入通関額】 (増減率: %)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前年同月(年)比	12.1	4.5	▲ 32.1	5.2	▲ 15.2	13.7	▲ 7.1



※最新月は速報値

(出所:神戸税関「貿易統計」)

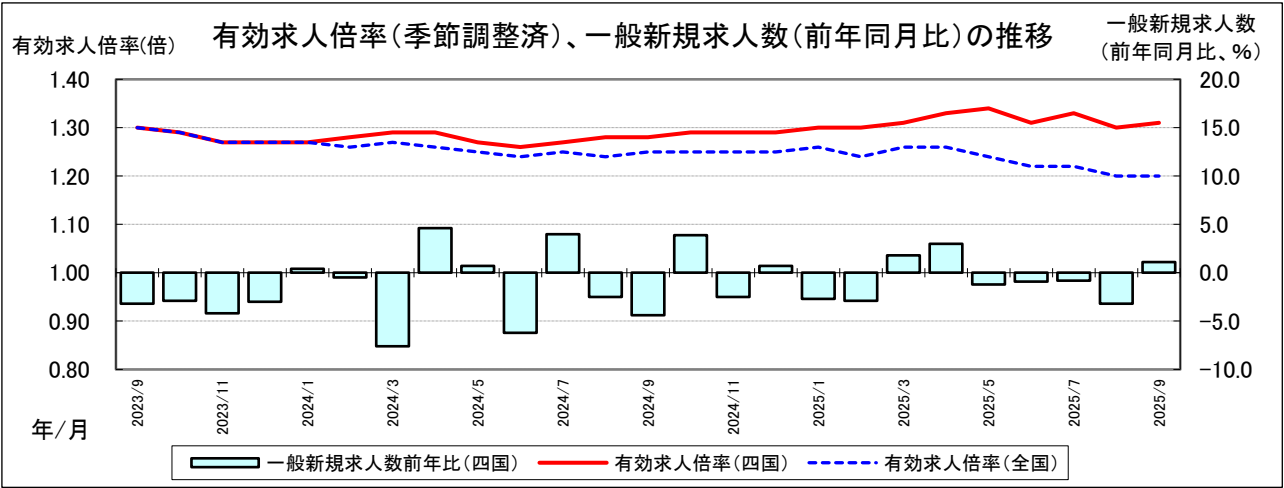
7. 雇 用

当月の雇用情勢をみると、有効求人倍率(季節調整済)は1.31倍で、2カ月ぶりに前月を上回った。

産業別の一般新規求人数(新規学卒、パートタイムを除く)をみると、「運輸業、郵便業」、「製造業」などが前年を下回ったものの、「サービス業(他に分類されないもの)」、「卸売業、小売業」などが前年を上回り、全体では前年同月比1.1%増と、5カ月ぶりに前年を上回った。

【雇用】 (倍、増減率:%)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
有効求人倍率(季節調整済)	1.28	1.33	1.34	1.31	1.33	1.30	1.31
一般新規求人数(前年同月(年)比)	▲ 0.8	3.0	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 3.2	1.1



(出所:厚生労働省「職業安定業務統計」、四国4県の労働局データを加工)

8. 企業倒産

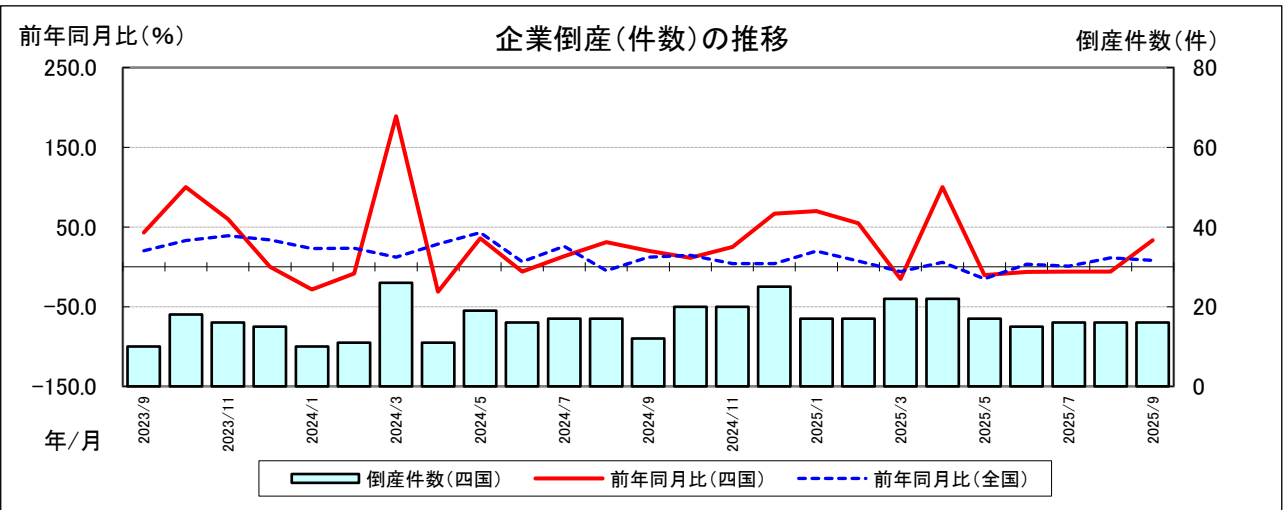
当月の企業倒産状況をみると、倒産件数は16件で前年同月比33.33%増と、5カ月ぶりに前年を上回った。

また、負債総額は17.0億円で、前年同月比208.74%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。

9月の過去10年間をみると、倒産件数は最多、負債総額は5番目となっている。原因別では、販売不振が11件、既往のシワ寄せ、放漫経営が各2件、過小資本が1件となっている。また、産業別では、建設業、サービス業他が各4件、製造業が3件、小売業が2件、農・林・漁・鉱業、卸売業、運輸業が各1件となっている。

【企業倒産】 (件、負債総額:百万円)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
件数	204	22	17	15	16	16	16
負債総額	24,007	1,866	4,201	1,460	1,834	1,351	1,695



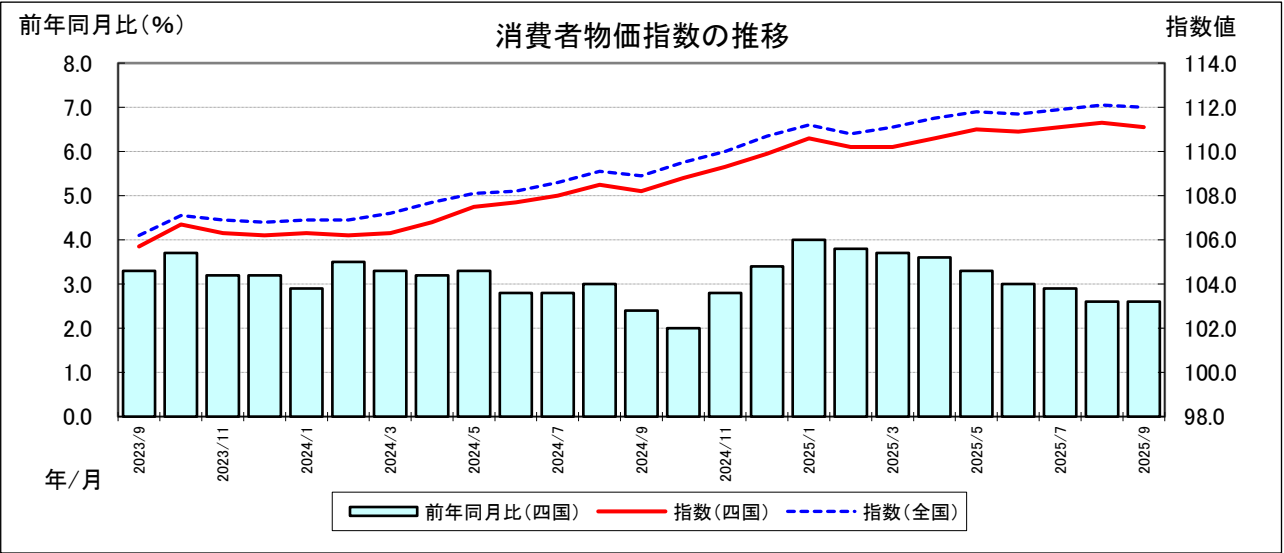
(出所:㈱東京商工リサーチ)

9. 消費者物価

当月の消費者物価指数は111.1で、食料、被服及び履物などが上昇したものの、光熱・水道、教養娯楽などが低下したことから前月比0.2％減となった。また、前年同月比は、食料、交通・通信などが上昇したことから2.6％増となった。

【消費者物価指数 2020年＝100】 (増減率：％)

	2024	2025/4	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9
前月(年)比	3.0	0.4	0.3	▲ 0.1	0.2	0.2	▲ 0.2



(出所：総務省「消費者物価指数」)